

いたばし水と緑の会会報

素敵なタイトル募集中！

1997. 5. 20 第1号

発行：いたばし水と緑の会 事務局

〒173 板橋区板橋2-66-1 TEL03-3579-2598

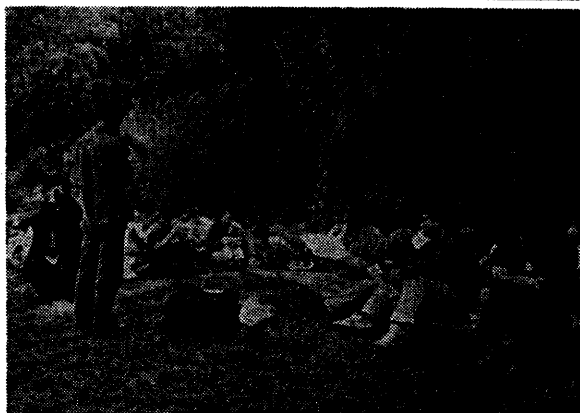
板橋区環境保全課内 FAX03-3579-2589

4月27日、はじまりの会は大盛況

晴天の赤塚公園に60名が集う

ヤマブキソウに感動しカレーライスで交流

4月27日午前10時、高島平図書館前に集まった参加者が赤塚公園の会場に移動をはじめました。みんなの顔は、これから始まることへの期待に満ちています。自然保護活動にかかわってきた人ばかりではありません。関心をもちながらも、行動に踏み出すきっかけのなかった人もたくさん参加しています。「水と緑の会」ののほりを立てた会場では、通りがかりの人が「なにが始まるの？」と話しかけてきます。わけを話すと「それはいいことだ」とその場での参加となりました。



はじまりの会の当日は、わたしたちが構想していたトンボ池予定地が公園整備の造成工事中などの理由で作業中止（当面は調査活動を重点的に行います）。

でも、武蔵野台地に広がる雑木林の新緑がわたしたちを歓迎してくれました。都会では稀少な野草になったヤマブキソウの見事な群生とも出会えました。

ひとわたりの散策の後、カレーライスの昼食とコーヒースerviceでのんびりして、今度は話し合いがもた

れました。呼びかけ人の香取孝作さんから、会が作られた経緯が説明されました。

規約案に対する論議の後、当面、2つのプロジェクトで活動することが確認されました。「赤塚の森ボランティア」のリーダーは香取孝作さん、「いたばし荒川自然回復団」のリーダーは、かがみ・りょうさんに決まりました。会の代表は当面空席のままスタートすることにしまし（2面につづく）

各プロジェクトの活動予定は3～5面に掲載しています。
全部付き合う義務はありませんが、できるだけいろいろ参加してください。
会員募集中！ 年会費2,000円 郵便振替口座「00170-8-352508 いたばし水と緑の会」



た。

この日の会は、世話人、事務局員などを確認、それぞれ自己紹介して散会しました。

さて、いよいよこれから、わたしたちが実際の活動をどのように繰り広げていくか、その中身と進め方が問われています。

寄稿・いたばし水と緑の会への期待

文京区白山 佐藤 修

市民と行政が手をたずさえて地域の自然を守り育てていく、有意義なこの会が立ち上がり、心からお喜び申し上げます。会発足の当日はさわやかに晴れあがり、新緑もいっそう引き立ち、はるばる夏鳥としてやってきたオオルリさえも私たちを祝福しているかのようでした。また、ヤマブキソウ、ニリンソウ、ムラサキケマン、オドリコソウ、ミズキなどの花々も個性的な美しさを見せていました。

内なる自然＝心も貧しくなっている

ところで、私たちの日常では、生活する環境との結びつきが次第に希薄になっているように感じられます。とくに、自然との結びつきが弱まっているように思われます。しかし、これでは私たちの周りの自然はおろか私たちの内なる自然、つまり心そのものも貧しくなっていく恐れがあります。今後ますます身の周りの環境に根ざした心の通い

合う生活が大切になってくるでしょう。

やや強引ですが、環境を自然環境と人間環境とに分けるとすれば、それぞれの環境と豊かに交流する生活こそが求められていると思います。したがって、この会の発足は、重要な意義をもっていると考えます。

人と人の関係も豊かになる活動を

このため、会の目的である自然環境を保全し回復を図っていくことはもちろん重要ですが、それと同時に、人対人の人間環境の視点も劣らず重要だと思います。参加者全員が気持ちを開放し、自由に述べ合い、交流する、このような心を大切に

する運営が求められていくと思います。植物や生きものたちが会員によってのびのびと育まれる、と同時に会員の心も豊かに育まれる、そんな心のはずむ会になっていって欲しいと思います。

会の活動を豊かにするのは会員のみなさんです。抱負、要望、提案、みなさんがやりたいことなどのご意見をお寄せください。イラストなども大歓迎！ /事務局

赤塚の森ボランティアの行動計画

- 6月8日 環境週間参加事業＝ニリンソウ自生地の清掃など●
終了後に世話人会を行います（詳しくは下記参照）
-

はじまり会では上の日程しか決めませんでした。具体的な活動計画を立てるために、参加会員全員ときちんとした相談会をもたなければなりません。

しかし、林の中は、季節の変動にともなってどんどん変わっていきます。ゆっくり話し合いをもつまで手をこまねいているというわけにもいきません。そこで、当面の間は、これまで雑木林の手入れ作業を行ってきた「区の花・ニリンソウを保存する会」の年間スケジュールにしたがって、「赤塚の森ボランティア」の活動と世話人会をもっていきたいと思います。

-
- 5月22, 23, 24日● いずれも午前10時 区立美術館前集合
赤塚八丁目のウバユリ自生地と森の公園自生地の手入れ作業
-
- 6月1日● 午前10時 現地集合
タマノカンアオイの林の生育状況調査と下草刈り
-
- 6月8日● 午前10時 都立赤塚公園大門地区、ニリンソウ観察台前集合
自生地の清掃、クズの伐採など（雨天でもやります）
作業終了後(午後) 赤塚の森ボランティア世話人会 場所＝郷土資料館講義室
-
- 6月22日● 午前10時 都営三田線「志村坂上駅」一里塚出口集合
武蔵野台地・小豆沢地区の崖線観察会 いたばし自然観察会との共催 弁当持参！
-
- 7月27日● 午前10時 区立美術館前集合
八丁目の森のウバユリの観察会と林の夏草刈り作業
-
- 8月10日● 午前10時 都立赤塚公園大門地区、ニリンソウ観察台集合
キツネノカミソリの観察会
-

(注) いずれも軽装、雨具持参でご参加ください。とくに作業がある場合には、タオル、軍手に汚れてもよい洋服がよいでしょう。着替えがあればもっとよいでしょう。

各行事はボランティア保険に加入しますので、すでに団体加入している方を除いて、1人100円の加入費をご負担いただきます。

いたばし 荒川自然回復団

4月27日「はじまりの会」で、活動内容と日程について検討いたしました。
 基本的には、自然観察会やクリーンアップをしながら、笹目橋下流右岸の自然回復について検討してゆこうというものです。



荒川中土手自然観察会 5月25日(日)

- *JR「新小岩駅」北口/10時集合 *参加費：無料
- *コース：新小岩駅→平井大橋左岸⇒(下流へ)総武線跡五色池⇒(上流へ)木根川橋⇒2:30 第2会場(新設)
- *持ち物：お弁当、飲み物、雨具など、
- *主催：あらかわ学会自然環境委員会 *問合せ先：FAX/☎3654-7240 中土手市民の会

『市民参加による荒川の自然回復の先輩、中土手の五色池を見に行こう!』

JR 板橋 $\xrightarrow[\text{埼京線}]{\text{約10分}}$ 新宿 $\xrightarrow[\text{総武線}]{\text{約30分}}$ 新小岩
 (9時頃) (10時頃)



(仮) 笹目橋緑地・自然観察会 6月1日(日)

- ・三田線「西高島平駅」改札口 10時集合
 - ・持ち物：お弁当、飲み物、雨具、フィールドノート、図鑑など
- (仮) 笹目橋緑地(笹目橋下流右岸、名前付けましょう)で草花、水生動物、樹木など、何が生きているのか、観察をします。観察会后、看板・チラシの内容について検討会を行います。その後、護岸部以外がほぼ完成している生態園を見学します。

- ・小雨決行、
- ・雨天の場合は、新河岸公園集会所で検討会

現在の看板 →

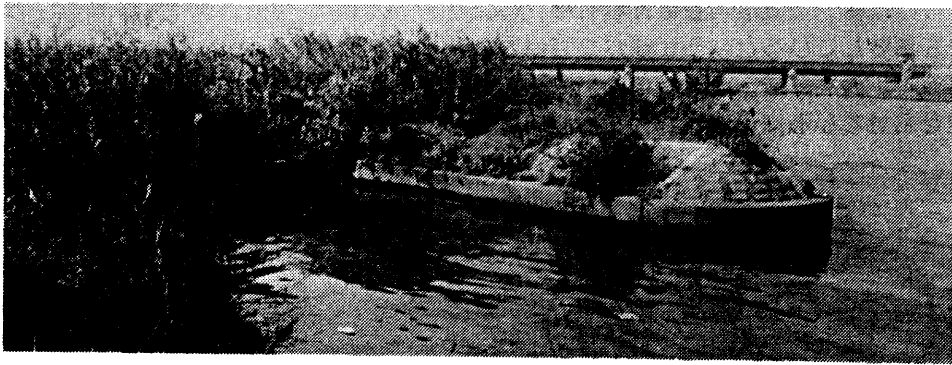
この看板の内容及び
 その他の看板(新設)
 の内容を考えてきて
 下さい。





河原キャンプ 8月2日(土)・3日(日) (詳細未定)

- ・入江の清掃、自然観察、ザリガニ釣り、アシ笛づくりなどを予定
- ・ミーティング（(仮) 笹目橋緑地の「自然回復目標と条件設定」について）
雨天の場合は、新河岸公園集会所でミーティング

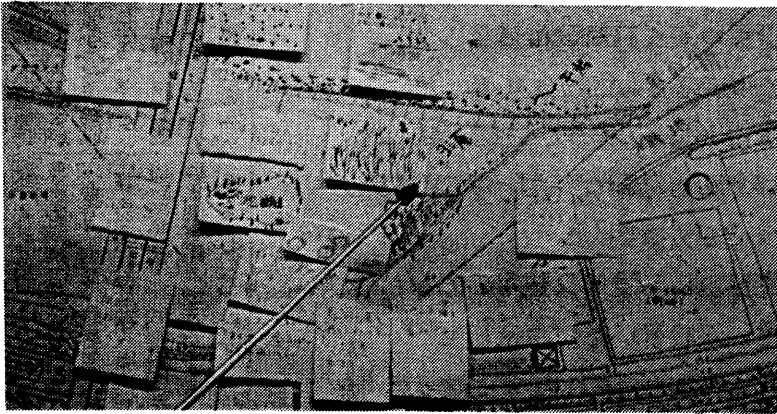


← 満潮時の入江
この奥にゴミがたまっている。



環境会議 (エコポリスセンター) 9月21日(日) (詳細未定)

- ・赤塚の森ボランティアとの合同報告会
- ・(仮) 笹目橋緑地の計画案の作成



← 昨年の環境会議
のプランのひとつ



荒川クリーンエイド 10月26日(日) (詳細未定)

- ・ゴミを分析・記録しながらクリーンアップを行う
- ・水質調査
- ・(仮) 笹目橋緑地の計画案の検討会

お4回目
荒川下流で二斉
清掃をします。



最終計画案の作成 11月23日(日) (詳細未定)

- ・基本的な計画案を作成し、基本設計、実施設計を行政にお願いする。

次年度は工事着手の予定

小屋弘美のちょっと一言

私、最近感じたことなんでしょうが、東京オリンピック以後、板橋区内ではかならず、ここがで互事をしているという状態がつづいているようで、約35年間、板橋区内の大改造互事を見せられているような気がしております。



報告をいくつか・・・

●幟(のほり)、腕章をつくってくれたひとは？

会の幟旗は大山金井町の渡瀬好子さんにお願しました。布の色選びや染色方法などにずいぶん悩んで作っていただきました。また、腕章のミシンかけは大門の吉村泰代さんが一手に引き受けてくれました。おふたりともご苦労様でした。

●いたばし野鳥クラブよりカレーライス費用のカンパ

●三園一丁目町会より差し入れをいただきました

4月27日の当日の参加費に材料費も含まれていたのですが、会への寄付金とさせていただきます。ふたつの団体に感謝いたします。

●現在の会員数(調べない方)は54名、1団体、 会報発送名簿記載は、114人・団体です

●世話人はつぎのみなさんです。(敬称略、下線は事務局=会計・広報などの実務担当部員)

赤塚の森ボランティア=香取孝作(リーダー)、猪鼻昭二、江戸きよみ、小寺正明、小屋弘美、かがみ・りょう、兼松方彦、木村松夫、栗林菊夫、坂本郁子、須藤公夫、高田義典、番匠広、不破佐和子、山下一郎、吉村泰代

いたばし荒川自然回復団=かがみ・りょう(リーダー)、木村延明、栗林菊夫、坂本郁子、佐藤修、須藤公夫、番匠広

●世話人はだれでもなれます。遠慮なく名乗り出てください。

●当たり前のことですが、世話人でなくても、会員はすべての活動に参加し発言することができます。

官民参加の自然保護団体

板橋に
発足

板橋区内の住民グループと区が協力して自然保護を進めようとする「いたばし野鳥の会」が二十七日に発足した。

メンバーは「三リンソウ」

で、市民と行政が一緒に自然の保護・回復を推進して活動していこうという意見が出たことが、結成のきっかけとなった。

二十七日の初会合には約六十人が参加。同区高島平の都立赤塚公園で、自生しているヤマブキソウや区の花でもある三リンソウ、わさびの観察などを行った。

1997.4.28 読売新聞

会では現在、会員を募集している。会費は年三千元。

問い合わせは同区環境保全課水環境係(電話3579・2500)へ。